

整理番号	頁	意見の要旨	対応	対応の理由
1	全体	「DX」や「AI」など横文字が多すぎる。県が発信する文書は、県民の誰もが読んでわかるよう、可能な限り平易な言葉に変えてほしい。	修正	意見のとおり、アルファベット略語及びカタカナ表記となっているものの一部については、使用が一般化しているとまでは言えないことから、別紙のとおり日本語に置き換える又は注釈を入れることとする。
2	10	どう考えても22時くらいまでかかる仕事を、20時30分までに終わらせるという命令を受けるようなことが続くと、大変なストレスで病気になってしまう。時間外命令と実際の従事時間を誰でも見られるようにすることで、ストレスから病気になる人を防ぐとともに、多く残業代を付ける厚かましい人をなくすことができる。	原案どおり	職員ごとの時間外勤務実施状況については、個人情報に該当し、開示していない。
3	11	有名な人の自殺が報じられると、いのちの電話や心の健康相談統一ダイヤルなどの番号も掲載されるが、相談を聞いてくれる人の名前が開示されていない。相談を聞いてくれる人は名前を名乗って相談を受けていただきたい。	原案どおり	相談ダイヤルの相談対応者の名前に関しては、名乗ることにより特定の相談対応者に相談が集中し、事業の実施に支障が生じることが想定される場合には匿名にするなど、事業の目的や内容に応じ、各実施主体において判断されているところである。
4	14	福岡県の農業改良普及指導センターのあり方について、今以上の研鑽を積み、将来の農業を担う農業者に対し、「農業生産者に対する経営支援や技術指導」だけでなく、「農業経営者に対する経営マネジメントの視点からの支援」が的確にできるような組織となることを期待する。	原案どおり	実際に組織見直しを行う際の考え方に対する意見であるため、関係課に意見送付する。
5	23	市町村共済組合の健康診断は良くない。30歳から胃の透視(胃部X線写真)があるが、国では他の検査方法を行っているところもある。健康診断は、各検査で見つけることができる有害物質を、まず国民の模範である議員が情報公開すべきであるが、ある自治体では「議員は健康診断を受けなくていい」と言っており、30～40%の議員が受けていない状態では、健康診断を強要すべきではない。健康診断自由制度にすべき。また、工事現場では水溶性接着剤をよく使うので、有害化学物質の検査ができるようにしてほしい。また、電磁波測定器の設置もすべき。	原案どおり	市町村における健康診断に関しては、県の行政改革の対象とならない。

行革審答申(行革大綱)におけるカタカナ・英語表記

用語	頁	日本語に置き換え	言葉の後ろに( )で説明を追加記載	言葉の前に簡易な説明を追加記載	ページの下部又は別ページに解説を追加記載
ICT	1		(情報通信技術)		
アウトソーシング	1		(外部への業務委託)		
アプローチ	26	周知方法			
インバウンド	2	訪日外国人旅行者			
AI	8		(人工知能)		
AIチャットボット	8			自動で回答する	
SNS	25		(利用者がインターネット上で交流できる会員制サービス)		
NPO	23		(民間非営利組織)		
Web会議	10		(インターネットを利用したオンライン上の会議)		
オープンデータ	7		(二次利用可能な公開データ)		
ガバナンス	6				統治。～路～自治体においては、行政運営の適正性を確保する仕組みのこと。
グループウェア	10		(組織内のネットワークを活用した情報共有のためのシステム)		
クラウドサービス	15			ネットワーク上でデータの保存・利用が可能な	
啓発ツール	20	啓発資材			
コンプライアンス	3	法令順守			
再チャレンジ	11	受験による職場復帰			
サイバー攻撃	20			システムへの不正侵入によりデータの破壊・流出等を行う	
サポート	8	対応			
ジェンダー	3		(社会的・文化的に作られた性別)		
スタイル	9	進め方			
スマート農業	14	ICT等を活用した農業			
スムーズ	10	円滑			
ダイバーシティ	3		(多様性)		
デジタル・ワークスタイル	9		(デジタル技術を活用した新たな仕事の進め方)		
テレワーク	9			自宅や出張先等からICTを使って仕事を する	
DX	7			デジタル技術の活用により行政運営を 変革する	
チャットツール	10			パソコンなどで文字による会話 (チャット)が可能な	
トレンド	20	最新の傾向			
ノウハウ	22	知識			
ハンドブック	11	手引書			
PDCAサイクル	20			計画・実行・検証・改善を循環させる	
(その)フィードバック(を得て)	24	その過程で得られた情報をもとに			
プライマリーバランス	1		(基礎的財政収支)		
プロセス	2	手順			
マスタープラン	5	削 除			
モチベーション	11	意欲			
リスク	20		(組織目的の達成を阻害する要因)		
リモートラーニング	21			職員が場所や時間にとらわれず受講 できる	
レイアウト	8	データ・項目・表の構成など			
ロールモデル	13		(目指したいと思う模範となる存在)		
ワーク・ライフ・バランス	1		(仕事と生活の調和)		

【参考】当初の文案において対応済みのもの

用語	頁	日本語に置き換え	言葉の後ろに( )で説明を追加記載	言葉の前に簡易な説明を追加記載	ページの下部又は別ページに解説を追加記載
RPA	9		(ロボットによる業務自動化)		
EBPM	8		(証拠に基づく政策立案)		
SDGs	3		(持続可能な開発目標)		
クラウドファンディング	18			具体的な寄附金の使い道を指定して 寄附をする	
Society5.0	2			デジタル技術の活用により経済発展と 社会課題の解決を両立する	
PFI	22				参考資料で説明
BCP	16		(事業継続計画)		
Park-PFI	22				参考資料で説明
PPP	22				参考資料で説明
フルデジタル県庁	7			「福岡県DX戦略」に基づく	
ウェルヘルス	3			人と動物の健康、そして環境の健全性 はひとつのものであるという	